

鉱工業指数参考図表集
(平成29年12月速報)

平成30年1月31日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年12月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

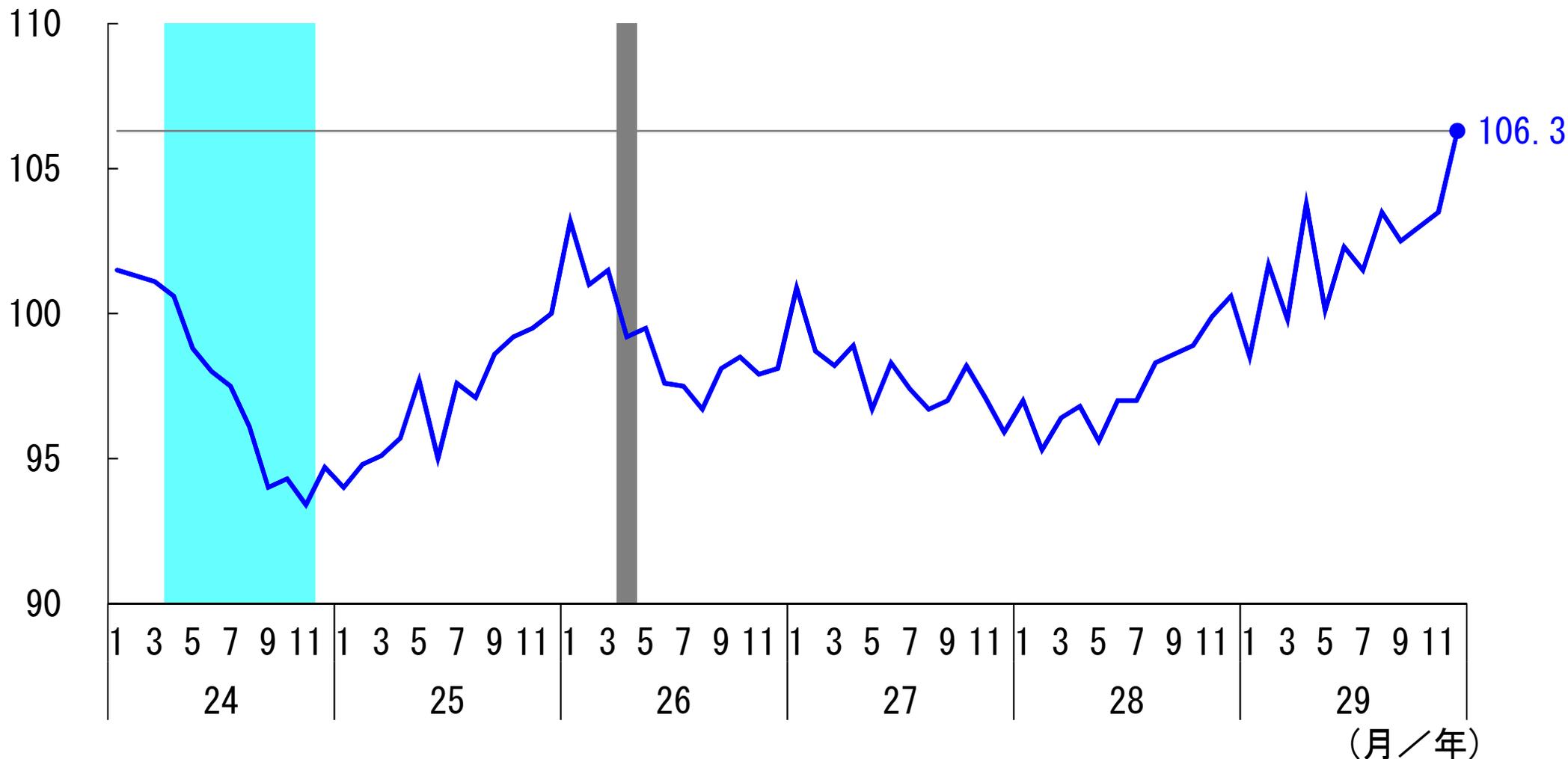
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	106.3	103.9	109.4	110.5
前月比	2.7%	2.7%	-0.4%	-0.5%
指数水準	H20. 10 107. 4以来 I H20. 2 117. 3 II H20. 1 117. 0 III H20. 3 116. 2	H23. 2 104. 4以来 I H20. 1, 2 118. 2 II H20. 3 118. 1 III H20. 5 116. 4	H29. 9 107. 3以来 ①H23. 3 97. 7 ②H22. 8 98. 3 ③H21. 12, H22. 9 99. 1	H29. 9 110. 3以来 ①H20. 2 94. 6 ②H20. 4 95. 9 ③H20. 5 97. 0
前月比の動き	3か月連続+ (H29.10~当月)	2か月連続+ (H29.11~当月)	2か月連続- (H29.11~当月)	2か月連続- (H29.11~当月)
前月比幅	H29. 4 4. 0%以来 I H23. 5 6. 8% II H21. 4 4. 4% III H23. 6 4. 2%	H29. 4 2. 7%以来 (超)H27. 1 3. 5%以来 I H23. 6 8. 0% II H23. 5 5. 6% III H22. 1 4. 3%	H29. 11 -0. 8%以来 ①H23. 3 -5. 8% ②H21. 2 -3. 9% ③H21. 3 -3. 1%	H29. 11 -2. 7%以来 ①H23. 6 -11. 7% ②H21. 6 -6. 7% ③H21. 3 -6. 0%
前年同月比(原指数)	4.2%	4.0%	2.0%	1.5%
前年同月比の動き	14か月連続+ (H28.11~当月)	14か月連続+ (H28.11~当月)	3か月連続+ (H29.10~当月)	3か月連続+ (H29.10~当月)
前年同月比幅	H29. 10 5. 9%以来 I H22. 3 29. 2% II H22. 2 28. 8% III H22. 4 23. 8%	H29. 8 5. 8%以来 I H22. 3 28. 4% II H22. 2 27. 0% III H22. 4 25. 4%	H29. 11 3. 0%以来 I H24. 3, 4 12. 1% II H23. 8 9. 0% III H23. 9 8. 1%	H29. 11 2. 8%以来 I H21. 2 64. 6% II H21. 1 54. 8% III H21. 3 47. 9%

(※) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成29年12月の鉱工業生産指数は、106.3(前月比2.7%)と3か月連続の上昇。
- 平成20年10月の107.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

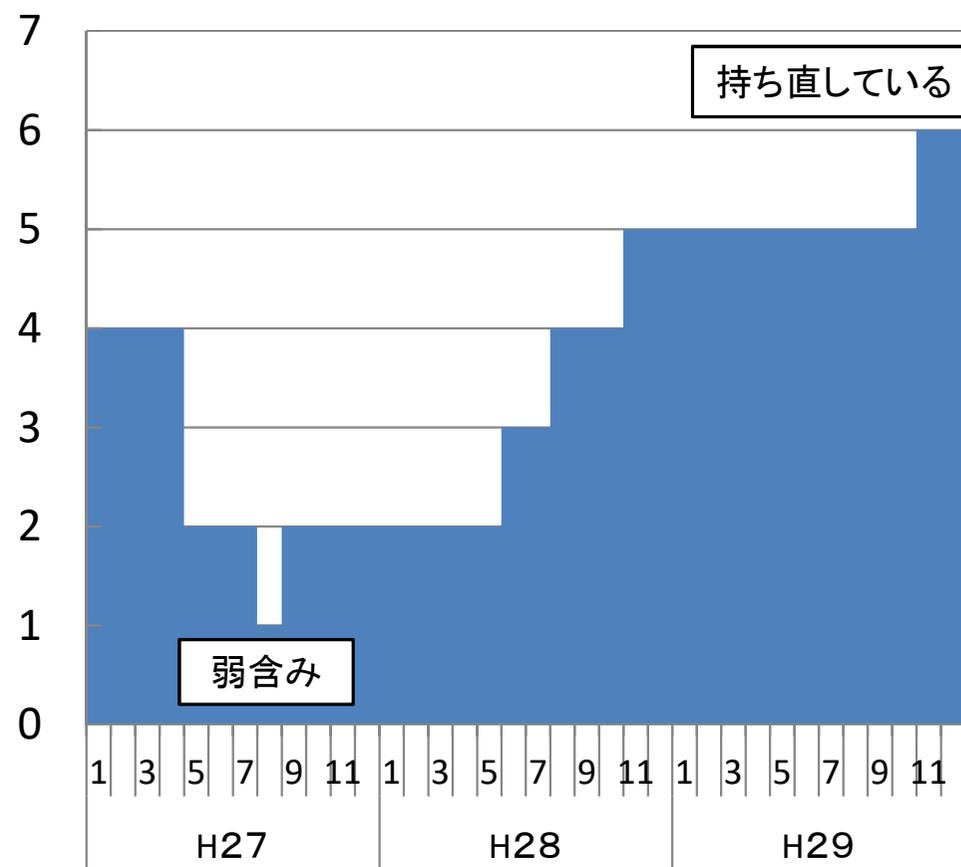
平成29年12月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直している」

基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月～
「生産は持ち直している」

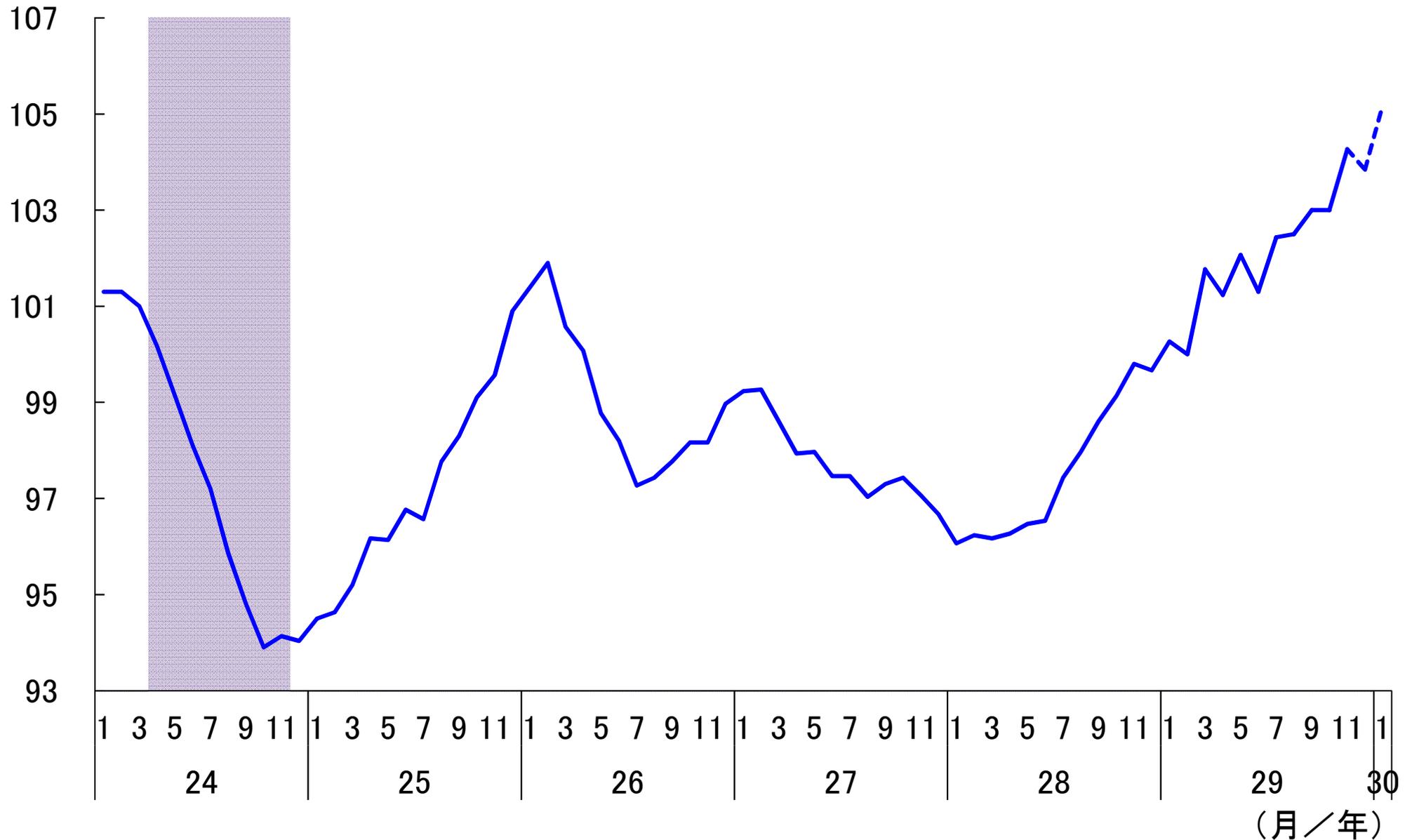
基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



（注）紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向へ引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	輸送機械工業	6.3%	46.4%
	品目	自動車部品	8.2%	21.6%
		乗用車	7.5%	21.3%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	4.8%	27.7%
	品目	土木建設機械	10.5%	6.8%
		運搬機械	24.3%	4.0%
	3位の業種	金属製品工業	9.2%	12.5%
品目	建設用金属製品	41.1%	9.7%	
	暖ちゅう房熱機器	9.0%	1.8%	
鉱工業生産を 低下 方向へ引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	情報通信機械工業	-1.4%	-1.1%
	品目	電子計算機	-3.5%	-1.4%
		その他の情報通信機械	-6.6%	-0.5%
	2位の業種	石油・石炭製品工業	-1.7%	-1.0%
	品目	石油製品	-1.6%	-0.9%
	3位の業種	化学工業（除. 医薬品）	-0.2%	-0.7%
品目	石けん・合成洗剤・界面活性剤	-6.5%	-2.5%	
	石油系芳香族	-5.8%	-1.7%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	自動車部品	8.2%	21.6%
	2位	乗用車	7.5%	21.3%
	3位	建設用金属製品	41.1%	9.7%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	-6.4%	-5.5%
	2位	石けん・合成洗剤・界面活性剤	-6.5%	-2.5%
	3位	ボイラ・原動機	-6.2%	-2.4%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.4%	45.1%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	11.6%	8.3%
		自動車用エンジン	12.4%	7.7%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	4.9%	17.9%
		普通乗用車	7.5%	14.0%
		小型乗用車	14.0%	5.2%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	2.8%	16.9%
		シヨベル系掘削機械	14.2%	7.1%
		専用機	157.8%	4.2%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	6.6%	12.7%
		橋りょう	95.0%	9.4%
		ガス風呂がま	8.7%	0.8%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.0%	0.0%

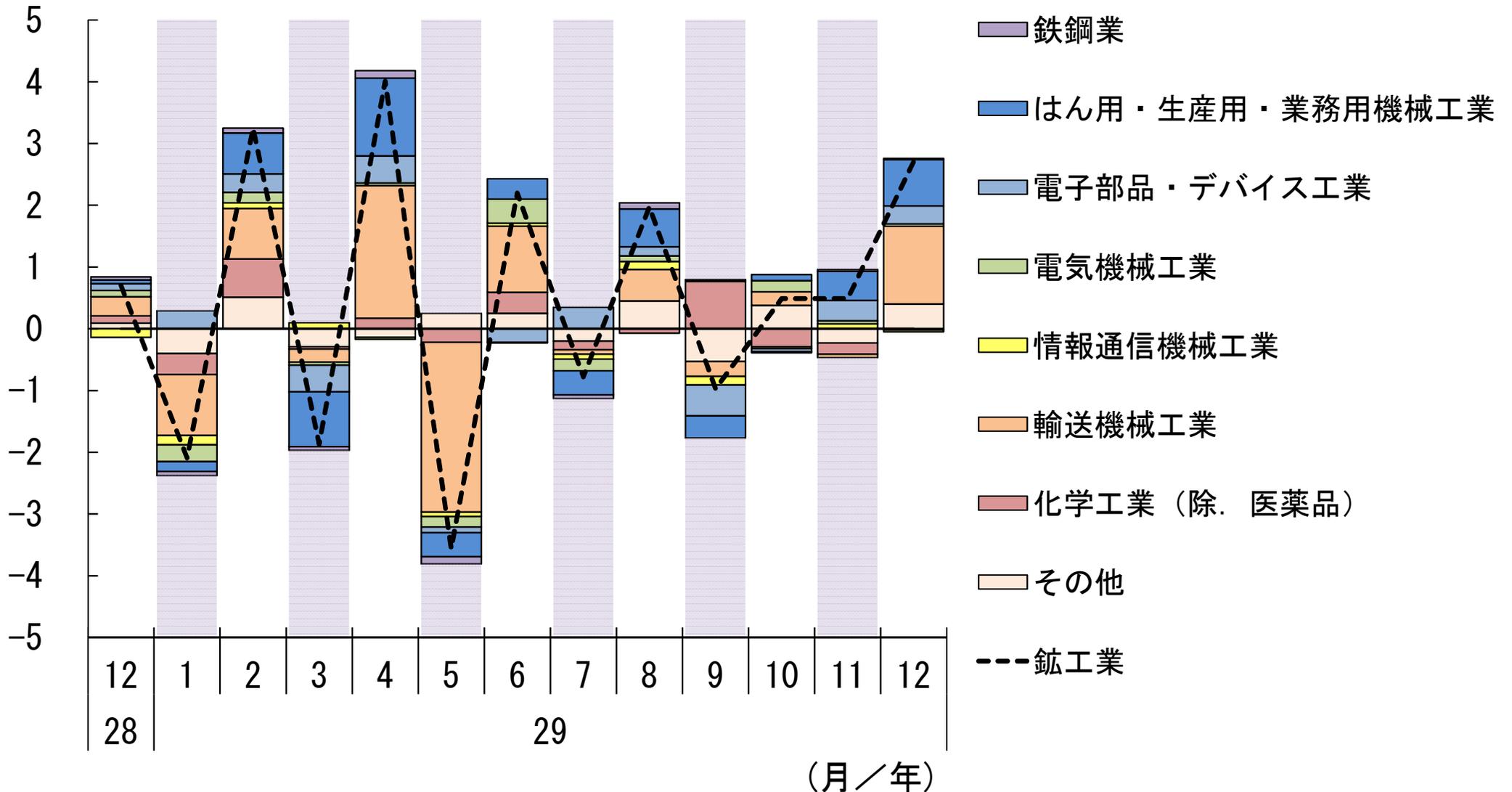
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年12月の生産指数は、情報通信機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比2.7%の上昇。

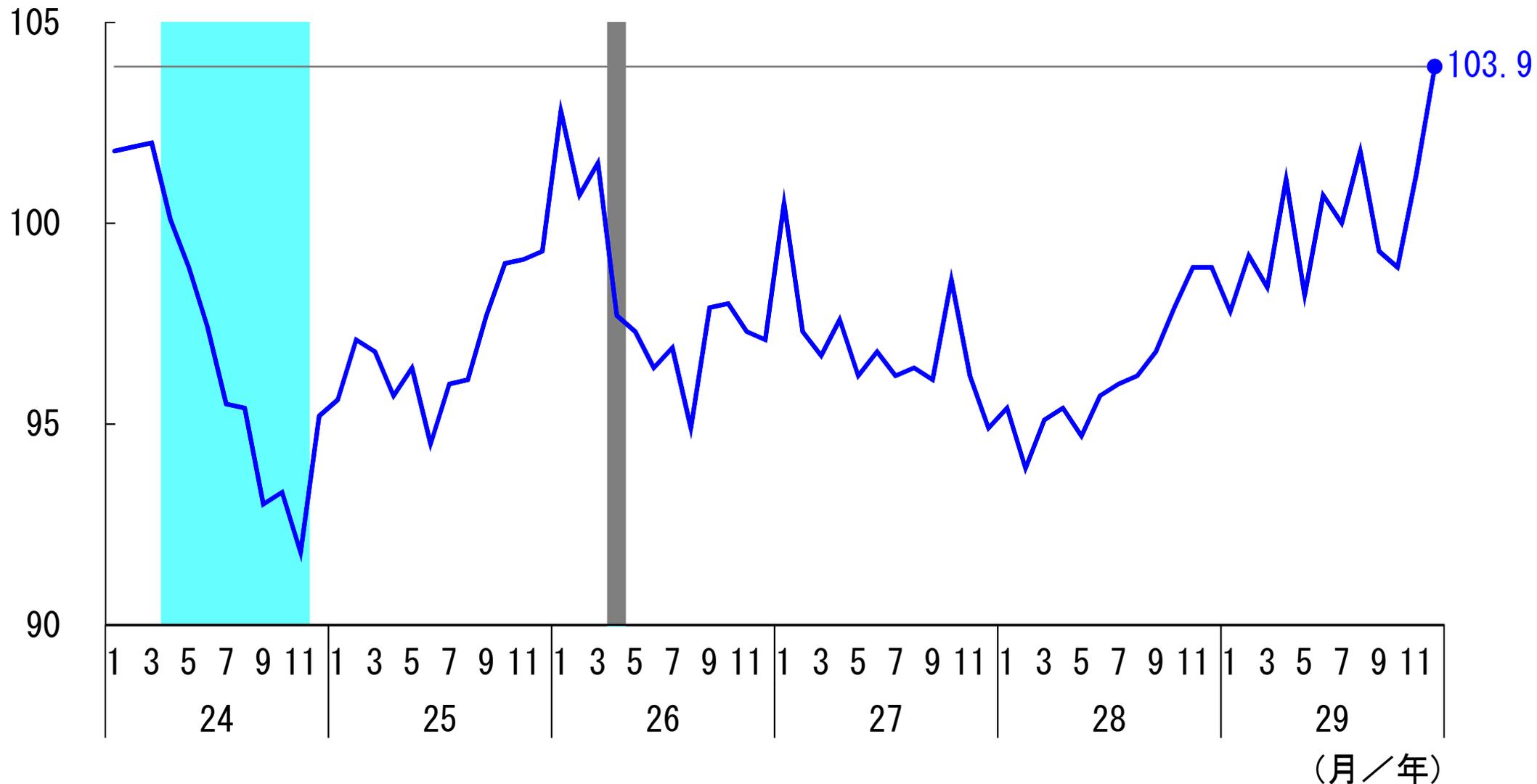
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成29年12月の鋳工業出荷指数は、103.9(前月比2.7%)と2か月連続の上昇。
- ・平成23年2月の104.4以来の指数水準。

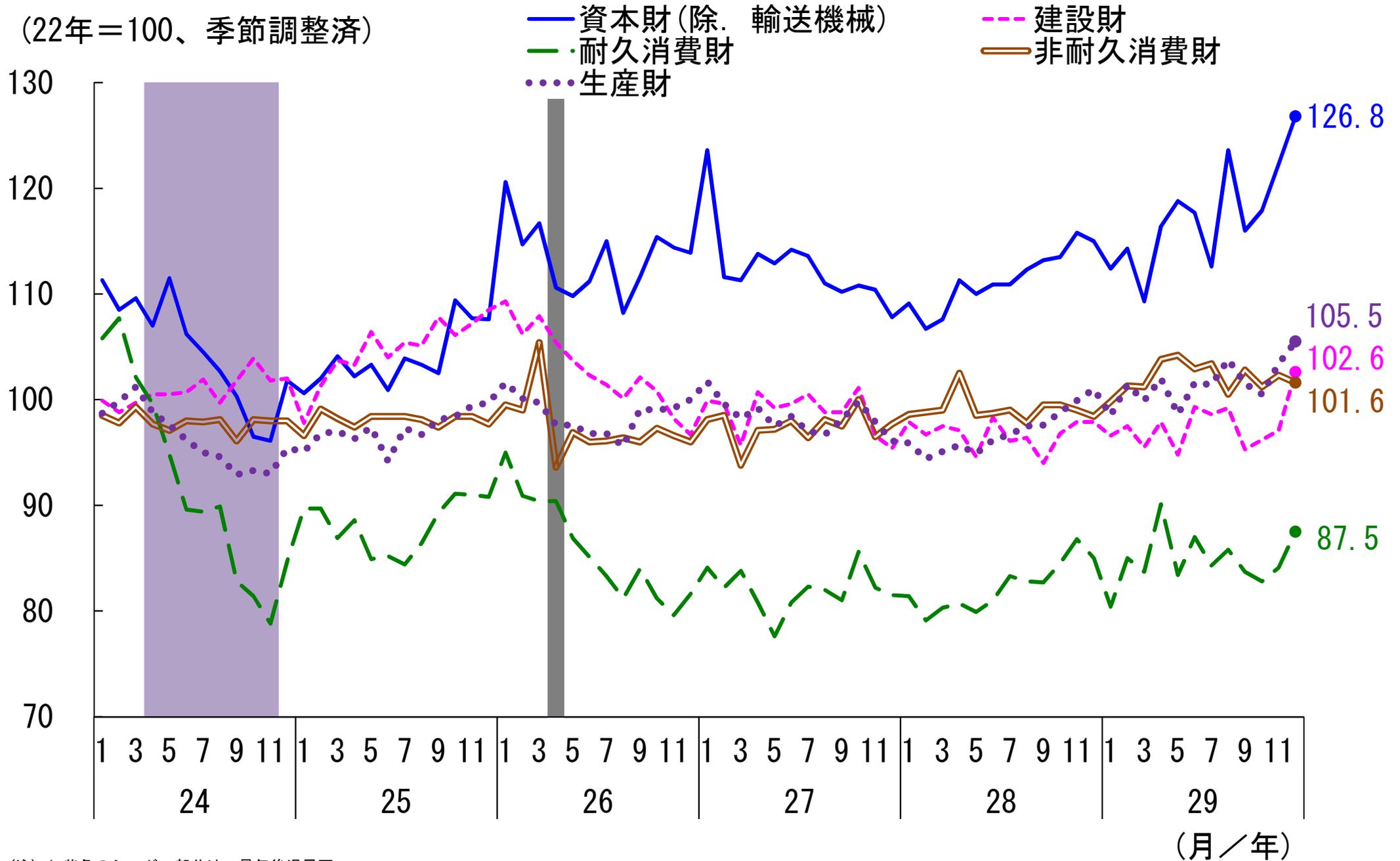
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

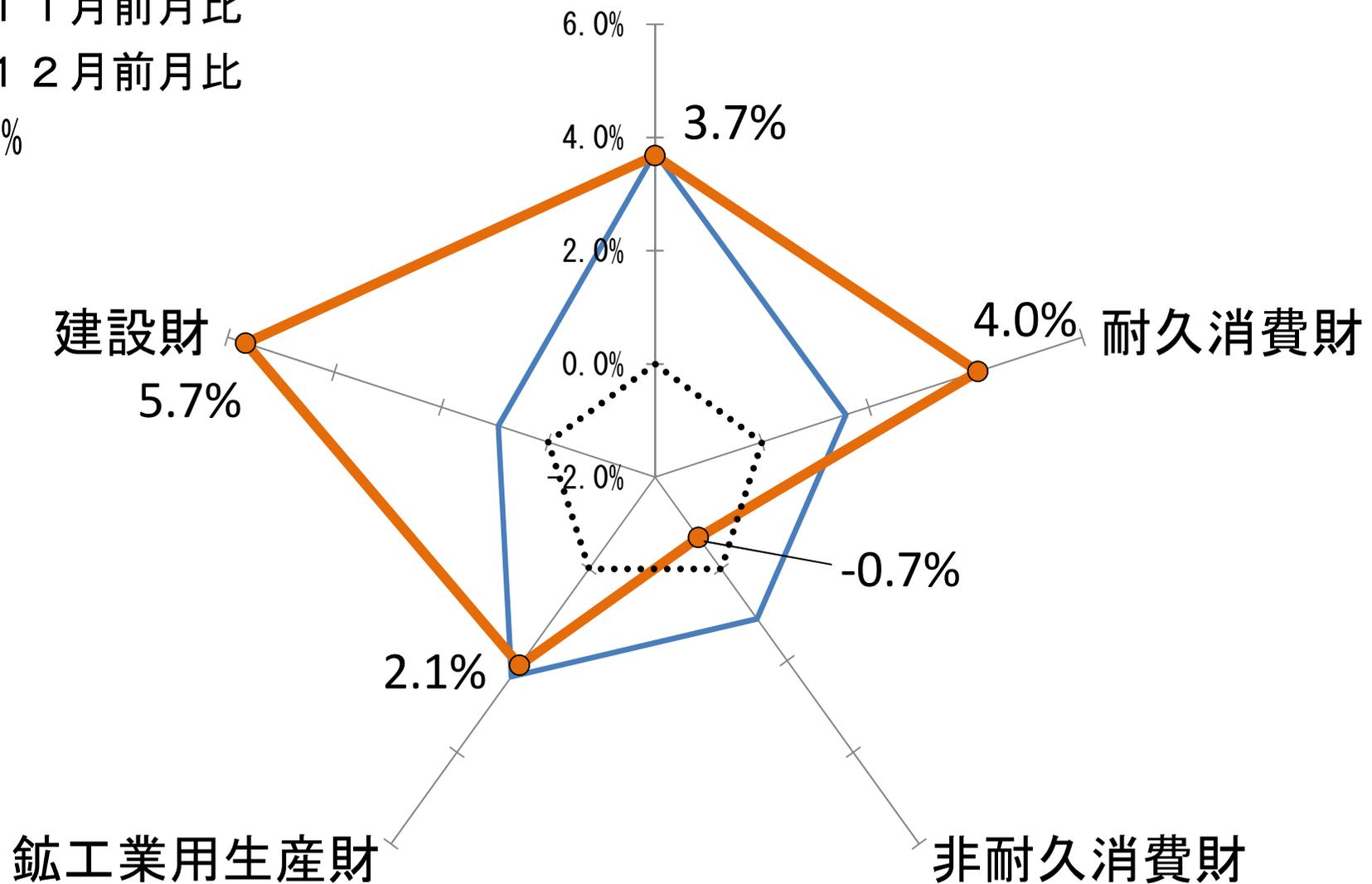


(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成29年11月、12月）

資本財(除. 輸送機械)

- 11月前月比
- 12月前月比
-0%



平成29年12月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

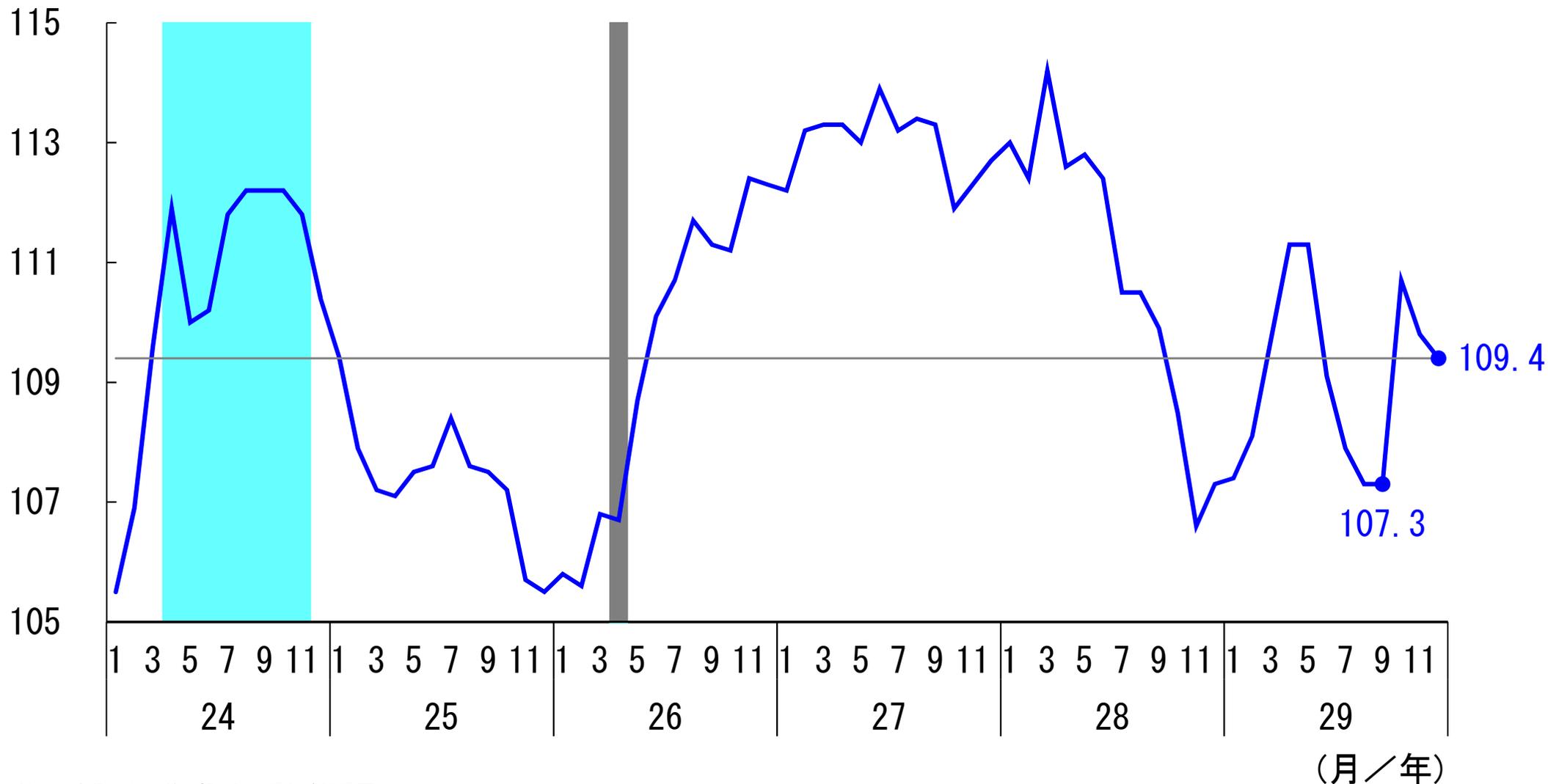
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.0%	39.1%
		自動車用エンジン	12.4%	7.5%
		シャシー・車体部品	11.7%	6.4%
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	3.7%	19.6%
		ショベル系掘削機械	12.0%	7.1%
		水管ボイラ	113.8%	4.3%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	4.0%	19.2%
		普通乗用車	9.3%	24.2%
		小型乗用車	8.6%	5.4%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	5.7%	11.2%
		橋りょう	92.6%	8.0%
		鉄骨	4.2%	0.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.7%	-3.0%
		合成洗剤	-10.6%	-1.6%
		モイスチャークリーム	-14.4%	-1.2%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

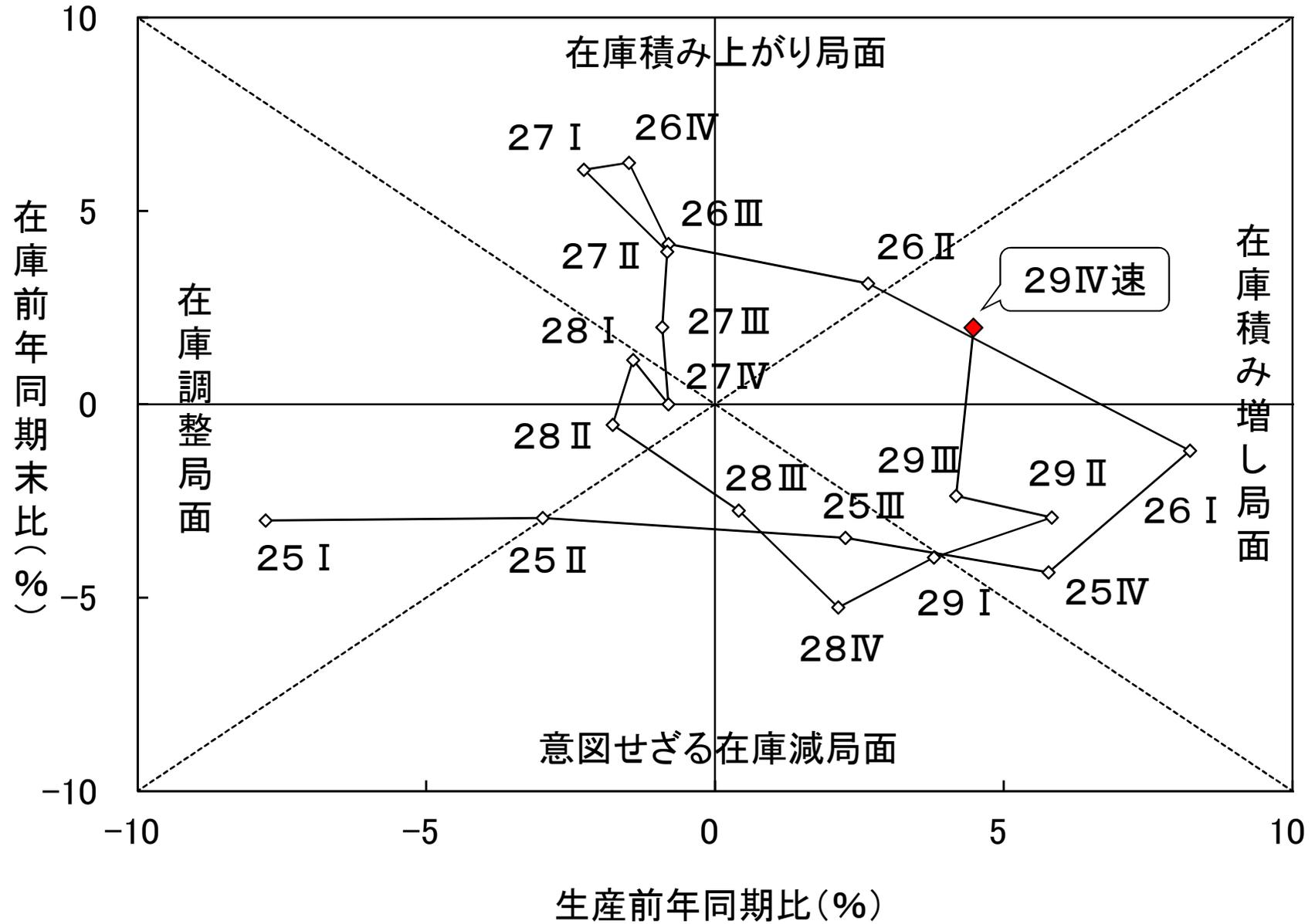
- ・平成29年12月の在庫指数は、109.4(前月比-0.4%)と2か月連続の低下。
- ・平成29年9月の107.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

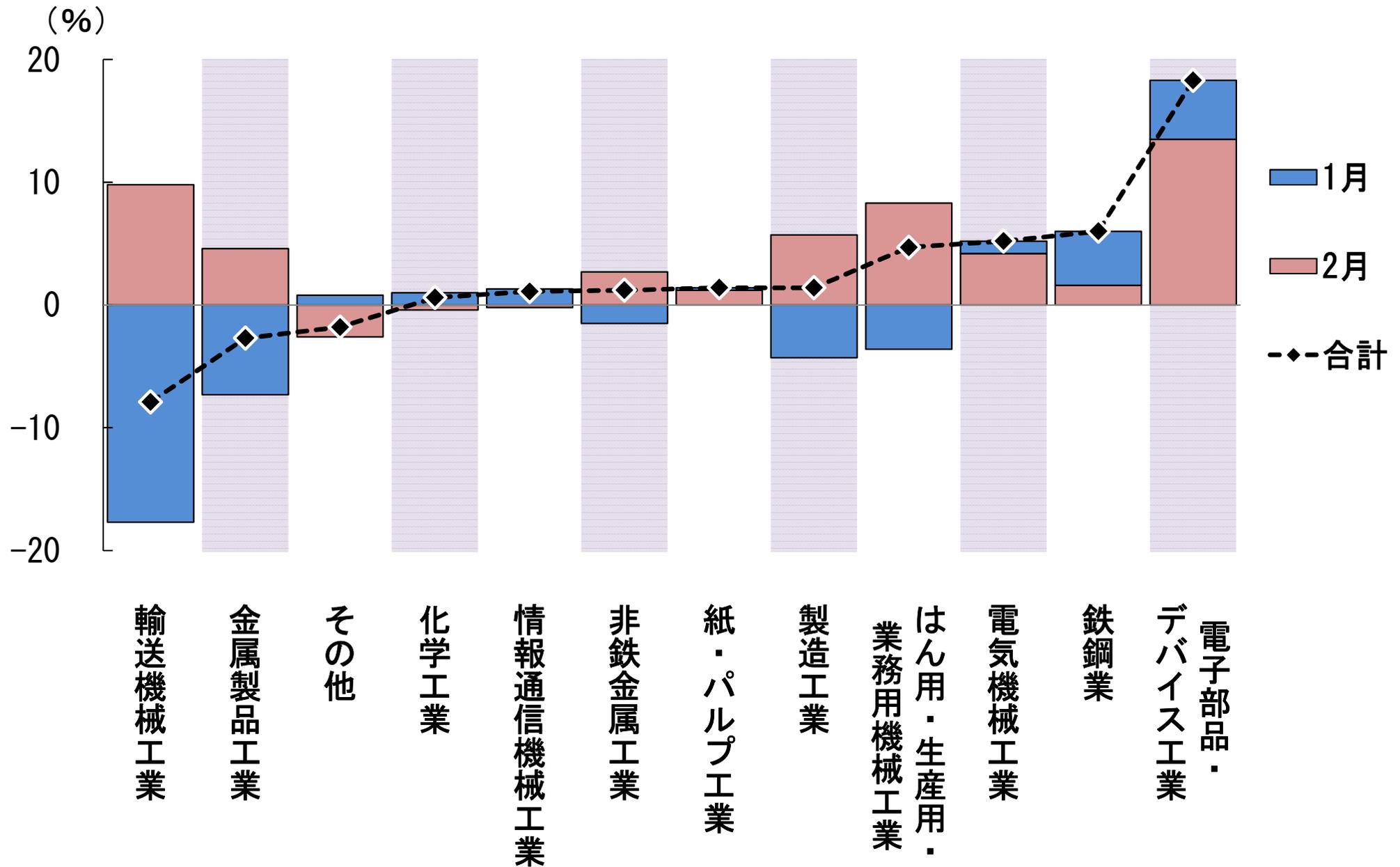


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成30年1月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
電子部品・デバイス工業	4.8%
鉄鋼業	4.4%
化学工業	1.0%
電気機械工業	1.0%
その他	0.8%
情報通信機械工業	1.3%

上昇寄与業種	計画前月比
紙・パルプ工業	0.2%
低下寄与業種	計画前月比
非鉄金属工業	-1.5%
金属製品工業	-7.3%
はん用・生産用・業務用機械工業	-3.6%
輸送機械工業	-17.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成30年2月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	8.3%
輸送機械工業	9.8%
電子部品・ デバイス工業	13.5%
電気機械工業	4.2%
金属製品工業	4.6%
鉄鋼業	1.6%

上昇寄与業種	計画前月比
非鉄金属工業	2.7%
紙・パルプ工業	1.2%
低下寄与業種	計画前月比
情報通信機械工業	-0.2%
化学工業	-0.4%
その他	-2.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年10-12月期の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

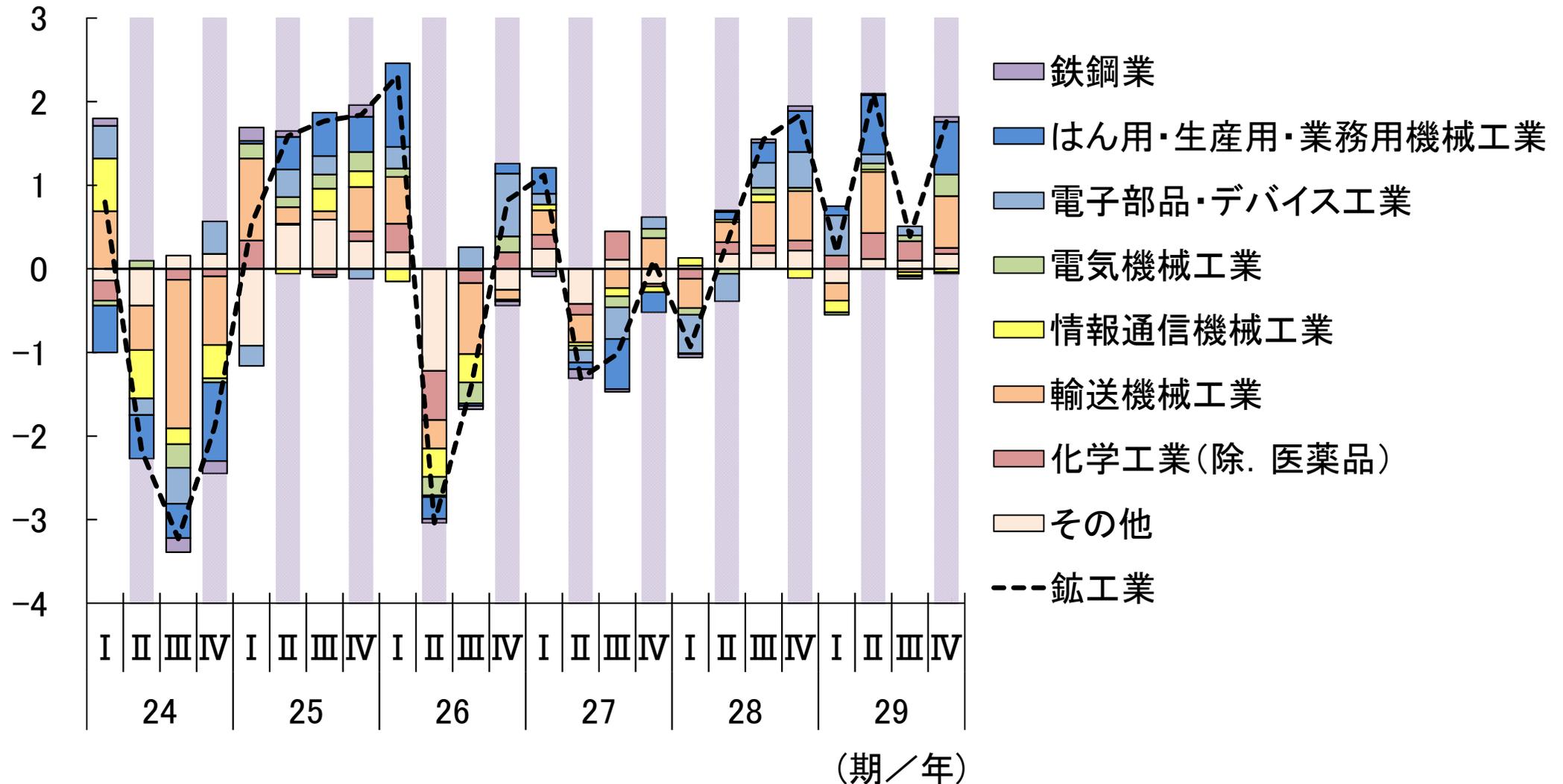
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	104.3	101.3	109.4	111.9
前期比	1.8%	0.9%	2.0%	1.1%
指数水準	H20Ⅲ 110.5以来 I H20 I 116.8 II H20 II 114.8 ⅢH20Ⅲ 110.5	H26 I 101.7以来 I H20 I 118.2 II H20 II 115.0 ⅢH20Ⅲ 109.4	H29 I 109.7以来 I H20Ⅳ 119.8 II H20Ⅲ 116.9 ⅢH20 II 115.7	H29 II 112.5以来 I H21 I 150.7 II H21 II 132.4 ⅢH20Ⅳ 123.8
前期比の動き	7期連続+ (H28 II ~当期)	3期連続+ (H29 II ~当期)	3期ぶり+ (H29 I 以来)	2期ぶり+ (H29 II 以来)
前期比幅	H29 II 2.1%以来 I H21Ⅳ, H23Ⅲ 7.1% II H21Ⅲ 6.1% ⅢH21 II 5.3%	H29 II 1.5%以来 I H23Ⅲ 9.0% II H21Ⅳ 7.7% ⅢH21Ⅲ 6.3%	H29 I 2.2%以来 I H23 II 7.2% II H24 I 4.9% ⅢH26 II 3.1%	H29 I 1.6%以来 I H21 I 21.7% II H20Ⅳ 18.1% ⅢH23 II 10.5%
前年同期比(原指数)	4.5%	2.9%	2.0%	2.0%
前年同期比の動き	6期連続+ (H28Ⅲ ~当期)	5期連続+ (H28Ⅳ ~当期)	7期ぶり+ (H28 I 以来)	6期ぶり+ (H28 II 以来)
前年同期比幅	H29 II 5.8%以来 I H22 I 24.8% II H22 II 19.7% ⅢH22Ⅲ 14.6%	H29Ⅲ 3.7%以来 I H22 I 24.8% II H22 II 20.6% ⅢH22Ⅲ 13.8%	H27Ⅲ 2.0%以来 (超)H27 II 3.9%以来 I H24 I 12.1% II H23Ⅲ 8.1% ⅢH26Ⅳ 6.2%	H28 II 2.0%以来 (超)H28 I 2.7%以来 I H21 I 56.2% II H21 II 35.6% ⅢH23 II 16.5%

(※) I ~ Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成29年10-12月期の生産指数は、情報通信機械工業などが低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前期比1.8%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



平成29年の鋳工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	102.1	100.0	108.5	111.7
前年比	4.5%	3.8%	2.0%	-2.2%
指数水準	H20 110.7以来 I H20 110.7 II H29 102.1 III H22 100.0	H22 100.0以来 (超)H20 110.6以来 I H20 110.6 II H22, H29 100.0 III H26 98.2	H27 112.3以来 I H20 121.9 II H26, H27 112.3 III H24 110.5	H26 109.8以来 ①H22 100.0 ②H20 105.7 ③H23 108.1
前年比の動き	3年ぶり+ (H26以来)	3年ぶり+ (H26以来)	3年ぶり+ (H26以来)	4年ぶり- (H25以来)
前年比幅	H22 15.6%以来 I H22 15.6% II H29 4.5% III H26 2.1%	H22 15.5%以来 I H22 15.5% II H29 3.8% III H26 1.3%	H26 6.2%以来 I H26 6.2% II H24 5.2% III H22 2.4%	H25 -3.7%以来 ①H22 -21.4% ②H25 -3.7% ③H29 -2.2%

(※) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数前年比 業種別の影響度合い

- 平成29年の生産指数は、情報通信機械工業が低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前年比4.5%の上昇。

(原指数、前年比、%、%ポイント)

